

## 2026年1月4日 主の顯現 マタイ2:1—12 「星を見て喜ぶ」 北川逸英師

二千年代に入ってから、私たちの暮らしは大きく変わりました。とくにスマートフォンが広まり、連絡も、買い物も、支払いも、調べものも、すぐにできるようになりました。「便利さ」は確かに大きく進歩しました。

最近は、時間をかけないことを「タイパ(時間対効果)」と言います。「秒で」という言い方も、よく耳にします。けれどそんなに急いで、私たちはどこへ行こうとしているのでしょうか。

料理が好きな私は、よく思います。おいしさは「時間」と「手間」から生まれます。土鍋でゆっくり米を炊く。炭火でじっくり魚を焼く。少し待つことが、味を深くします。「レンジでチン」は便利だが、何か置き忘れたようで、これを料理と呼ぶのは困惑します。

急いで不便なのは、料理だけではありません。ネットで調べれば、AI がすぐ答えます。けれど与えられた答えがいつも正しいとは限りません。AI が利用者の気に入る簡単な答えを、すぐに返してくることもあります。だから大切なのは、急がずに確かめることです。

今日の福音書(マタイ 2:1—12)には、それがよく表れています。東の国から学者たちがきました。星を見て「ユダヤ人の王が生まれた」と考え、エルサレムを訪ねました。

王を探すなら宮殿が一番早い。いちばん「タイパ」が良い。だから彼らは王宮へ向かいます。しかしそこにいたのは「古い王」ヘロデでした。

ヘロデにとって、王は自分で。新しい王の誕生は都合が悪い。ヘロデは恐れました。そして彼は、学者たちを「ひそかに」呼び寄せ、星の現れた時期を確かめます。

ヘロデは丁寧な言葉で、こう言いました。

「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」  
(マタイ 2:8、新共同訳)

この「拝もう」が、うそでした。うまいうそは、敬虔に聞こえる言葉の中に隠れます。そして、私たちが急いでいる時ほど、うそは入り込みやすいのです。

早く結論がほしい時。早く安心したい時。早く次へ行きたい時。そういう時、人は言葉を吟味する力を失います。「もっともらしい言葉」に乗せられやすくなります。

私たちの周りにも、声の大きい言葉があふれています。「今すぐ」「すぐに」「早く」「秒で」「決めろ」。その声が大きいほど、心は落ち着かなくなり、焦ります。

ところが学者たちが王宮を出ると、星が再び現れます。星は先に立って進み、幼子のおられる所の上に止りました。そして聖書は言います。

「学者たちはその星を見て喜びにあふれた。」(マタイ 2:10、新共同訳)

この喜びは、目的地が分かった喜びだけではありません。「神が、なお導いておられる」と分かった喜びです。嘘と恐れの言葉に触れたあとで、もう一度、神の光が与えられたのです。

学者たちは家に入り、母マリアと共にいる幼子イエスに出会います。彼らは議論をしません。情報を集めません。ただ、ひれ伏して礼拝し、黄金・乳香・没薬をささげました。

彼らは「正しい情報」に到着したのではありません。礼拝に到着したのです。信仰の中心は、便利さではなく、礼拝です。神を神としてあがめ、神が主であると告白することです。

物語の最後に、もう一つ大切な出来事があります。学者たちは夢で告げられます。

「ところが、『ヘロデのところへ帰るな』と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。」(マタイ 2:12、新共同訳)

主に出会った人は、同じ道では帰れません。恐れの道、だましの言葉に従う道には戻れません。主が示す「別の道」へ、命を守り、愛を選ぶ道へと歩みます。

ヘロデのような声が、私たちの心の中にも聞こえます。世間の常識かもしれません。自分の焦りかもしれません。けれど、その声が大きくなるほど、星は見えにくくなります。

だから私たちは、立ち止まり、確かめることを大切にしたいのです。すぐに決めず、いったん深呼吸する。分からぬ時は確認する。人の言葉をうのみにせず、聖書に照らす。人を急いで裁かず、最後まで聞く。

そして今日できる愛を実行します。隣人にあいさつする。働きをねぎらう。共に生きる存在に、感謝と喜びを伝える。こうした小さな丁寧さが、私たちを正しい道に保ち、「星を見て喜ぶ」心を生かし続けます。

もう一度忘れずに覚えておきたいことがあります。『急がない。確かめる。礼拝する』この三つを忘れないなら、私たちは闇の言葉に流されにくになります。

喜びは「早さ」から来ません。喜びは、主が共におられるという確かさから来ます。主は今も導いておられます。私たちも、焦らず、丁寧に、主の光の中を歩みましょう。

ともに祈りましょう。

主なる神よ。あなたは闇の中にいる私たちに光を与え今日まで導いてくださいました。感謝します。世の言葉や焦りに振り回されず、あなたの言葉に耳を澄ませる心を下さい。急がずに、丁寧に生きる力を下さい。キリストを礼拝する喜びを、私たちのうちに新しくして下さい。この一年も世界の平和のために、どうか私たちを用いて下さい。  
主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

主の平和